



みどりネット通信

第12号
2009年6月1日
発行
上風連みどりネットワーク
編集 事務局
Tel 0153-75-7361
✉ k-midori-n@arens.or.jp

花壇づくり



今年も各町内会の花壇が始動しました。今年も気温が高かったり低かったり定まらないので、作業もはかどらなくて大変だと思いが、みなさんがんばって来ています。



今年も各町内会で、个性的できれいな花壇が出来上がるかと思えます。七月中旬には見ごろになると思い、今から楽しみです。

小公園整備

今年度から上風連小公園の整備が行われます。小公園整備されてから二十年経ち、木の成長とともに込み合ってきたり、枯れたりしているの、連合町内会が手掛けることになりました。木の移設と間



引き、池の清掃、ツツジの選定、すずらんの移植などが予定されています。きれいな明るい公園に生まれ変わる予定です。



すずらん移植

五月二十八日(木)には青年会が小公園のすずらんの移植が五百本を植えてく



者たちは元気一杯働いてくれました。昨年植えた五百本のすずらんの苗もほとんどが残っていて、これから定着していつか花を咲かせてくれることを期待しています。

編集後記
京都に行った時の写真整理をしていたら、Yさんがホテルの窓から撮った景色の写真に写ってはいけなかった(恐)と見ても透けた若い男子の私は柔道部の男子高校生だと思っているのですが、Yさんは「観音様が導いてくれた」といふんですが、真相は謎のまま...



五月十六日十七日に中央が十九日二十日に南矢が昨年



に引き続き桜の植樹をしました。桜ロードが長くなってきました。



桜の植樹

みどり故郷づくり別海地域協議会 馬頭観音像来歴調査



地域協議会は昨年度三月に馬頭観音堂の屋根の修繕



に国後島からの引揚者開禅寺住職が南矢町内会に預けたという由緒ある仏像です。みどりの故郷づくり別海



二十年は昭和は昭和三十二年に南矢にある馬頭観音像は昭和二十年に南矢町内会に預けた。南矢のみなさんが参加し、輝く赤い屋根になりま

修繕を行いました。内装リフォームと仏像の間から見つかった。馬頭観音像の紹介で修繕された観音様と掛け軸はピカピカになりました。

五月十五日から十七日に南矢町内会長の山内さんと町教委の芸員の戸田さんと協議会幹事の「松尾

た掛け軸の修繕は町内会でお金を出した。馬頭観音像の紹介で修繕された観音様と掛け軸はピカピカになりました。

して行きました。札幌の瑞現寺(元・国後島)から取り寄せたという証言から「いわれ」の調査に行ってきました。結果、記録には残っていませんでしたが「松尾



札幌瑞現寺住職と

京都へ行ってきました



山村さんが、馬頭観音の台座に京都の松尾寺と明記されているというところと国後島松尾寺住職に依頼して松尾寺から取り寄せたという証言から「いわれ」の調査に行ってきました。結果、記録には残っていませんでしたが「松尾

寺」と明記されていることから、松尾寺の承諾の元造られた馬頭観音像であると現住職が認めてくださいました。京都で造られた観音様が国後島で祀られ、



京都松尾寺

終戦後上風連開禅寺に祀られ今は南矢町内会が大切に祀っているということが証明されたと思います。さらに当時のことを知る方々から国後島にあった観音堂には三十三体の仏像があったことや、その仏像には寄進した人の名前が書かれていたという話もありました。残りの三十二体の仏像の行方など、調査はまだまだ続きます。